

推薦調書

提出日： 年(西暦)/月/日

【推薦表彰種別】

功績賞		奨励賞	
○国際標準化活動分野	○国際協力活動分野	○国際標準化活動分野	○国際協力活動分野

※ 『功績賞』『奨励賞』の中でも、どの分野に相当するか、チェック下さい。

※ 『功績賞』では、世界情報社会サミットにおける基本宣言および行動計画の実現および国際標準化、国際協力に関するITU等の活動または我が国のITU等に関連する諸活動に貢献すると共に、その他情報通信および放送の発展に寄与し、その功績が著しい者を対象とします。

※ 『奨励賞』では、今後上記での領域において継続して寄与することが期待される者を対象とします。

【受賞候補者】 <個人用、連名推薦用>

外国人や外国の機関に所属している方の場合等は、氏名、現職、最終学歴、主要職歴、表彰歴は必要に応じて和英両方で表記

受賞対象	個人 連名(個人名連記で推薦) (連名者名:)				
氏名(日本語) (ふりがな)	氏	名	そのまま入力も出来ますが、右のタブをクリックし、「年月」部分及び「年」部分をクリックすると年号を遡る事ができます。	生年月日	年(西暦)/月/日
	せい	めい		年 齢	歳 (2024 年 1 月 1 日現在)
氏名(英語)	Family Name	First Name		○男性 ○女性	
会社名(日本語)				社名略称	
会社名(英語)				基本的に英略称を御記入下さい。	
現所属(日本語)	所属	大文字、小文字等公式の表記で		役職	
現所属(英語)	Affiliated post			Title	
連絡先(勤務先) <通常の連絡先>	住所	〒	連絡先は勤務先、自宅の両方をお書き下さい。通常勤務先に連絡しますが、直前や緊急の場合に自宅連絡先を利用します。		
	電話				
	e-mail				
連絡先(自宅) <緊急時連絡先>	住所	〒	そのまま入力も出来ますが、右のタブをクリックし、「年月」部分及び「年」部分をクリックすると年号を遡る事ができます。		
	電話 (携帯電話等)				
	e-mail	勤務先とは別の e-mail を記入下さい			
最終学歴	卒業/修了 年月				
	学校名				
	資格・学位	○教授 ○博士 ○修士 ○学士 ○その他			

推薦調書

提出日： _____

年(西暦)/月/日

【推薦表彰種別】

功績賞		奨励賞	
○国際標準化活動分野	○国際協力活動分野	○国際標準化活動分野	○国際協力活動分野

※ 『功績賞』『奨励賞』の中でも、どの分野に相当するか、チェック下さい。

※ 『功績賞』では、世界情報社会サミットにおける基本宣言および行動計画の実現および国際標準化、国際協力に関するITU等の活動または我が国のITU等に関連する諸活動に貢献すると共に、その他情報通信および放送の発展に寄与し、その功績が著しい者を対象とします。

※ 『奨励賞』では、今後上記での領域において継続して寄与することが期待される者を対象とします。

【受賞候補者】 <団体・プロジェクト推薦用>

受賞対象	○団体(プロジェクト名で推薦)		
団体・プロジェクト名 (日本語)	大文字、小文字等公式の表記で。 株式会社等も記入下さい。		
団体・プロジェクト名 (英語)			
会社名(日本語)		社名略称	
※複数社関係する場合、 全て御記入下さい。		※同左	
会社名(英語)	共同プロジェクトの場合、関係する企業(団体)名は <u>全て</u> 御記入下さい。		基本的に英略称を御記入下さい。
※複数社関係する場合、 全て御記入下さい。			
代表者氏名(日本語)	氏	名	
(ふりがな)	せい	めい	
代表者氏名(英語)	Family Name	First Name	
代表者所属・役職 (日本語)	所属		役職
代表者所属・役職 (英語)	Affiliated post		Title
連絡先(勤務先)	住所		
<通常の連絡先>	電話	通常勤務先に連絡しますが、直前や緊急の場合に「連絡先(緊急)」を利用します。	
	e-mail		
連絡先(緊急時)	携帯電話等		

【推薦機関】《以下、全推薦共通》

推薦機関名			
住所	〒		
推薦者名			
所属・役職			
連絡先 (式典の御案内をお送りしますので、e-mail は必ず記入下さい)	電話	当日のご招待状を e-mail でお送りしますので、必ず御記入下さい。	
	e-mail		
受賞候補者との関係 推薦するに至った理由の要点 (約 60 字以内)			

【事務連絡ご担当者】 (今後の事務連絡先を御記入下さい)

氏名			
会社名・所属・役職			
連絡先	電話	功績概要の確認等に必要です。 e-mail は複数名登録できますが、ご担当者として、1 名の登録をお願いします。	
	e-mail		
		複数名の登録は、「,」で繋げて下さい。	

【受賞候補者】

主要職歴(西暦) (団体は功績領域での活動歴・沿革)	年			
	年	団体(プロジェクトを含む)推薦の場合は、団体の功績領域での活動歴・沿革を記入して下さい。		
	年			
	年			
	年			
		年 (現職)		
表彰歴(西暦)	年		功績分野	
	年	賞名(受賞年)を古いものから順に御記入下さい。	功績分野	
	年	主な功績を御記入下さい。		
	年		功績分野	

【推薦のアピールポイント】 <複数チェック可>

ITUの諸活動での功績・継続的な寄与・期待
他標準化機関・団体での功績とITUとのリエゾン[他団体または社内表彰制度等での受賞があれば参考資料として添付下さい]
海外協力活動での功績・継続的な寄与・期待
ITU/APT 等のプロジェクト推進での功績
ビジネススペースでのプロジェクト推進による途上国社会発展への貢献 [当該案件の表彰、感謝状、紙面掲載記事等を参考資料として添付下さい]
SDGs実現へ向けての貢献、期待
その他

功績ポイント(約 150 字以内) ※専門分野ではない一般の方にも分かる簡潔で平易な文章を記載下さい。

主たる活動 <活動内容は、そこで何をしたか>

従事期間(西暦)	
主たる活動団体 (ITU-R,T,D、APT、JICA 等)	
主たる活動分野 と内容 (SG、プロジェクト名 具体的な活動内容等)	
役職等 (議長・副議長、ラポータ等)	

・専門分野ではない一般の方にも分かる平易な文章で、簡潔に記載下さい。
(受賞者紹介として式典のパンフレットに掲載予定です)

・功績は、候補者がどのようにして該当功績を成し遂げたかを具体的に記載下さい。

・ここで使用する略号については、略号のみで構いません。
ただし、必ず次ページの「活動歴・功績概要」に、略号(英語フル/日本語)の順で解説をお願いします
(例/ITU(International Telecommunication Union/国際電気通信連合)

・一部、事務局にて要約・編集する事があります。予めご了承下さい。また、事務局にて後日パンフレット用に英訳しますので、英訳を意識して作文下さい。後日、チェックをお願いします。

<2>

従事期間(西暦)	年 ~ 年
主たる活動団体 (ITU-R,T,D、APT、JICA 等)	
主たる活動分野 と内容 (SG、プロジェクト名 具体的な活動内容等)	
役職等 (議長・副議長、ラポータ等)	

・主な活動内容は、「会合に参加」「活動に従事」だけでなく、そこでどんな「功績」を残したかをお書き下さい。

<3>

従事期間(西暦)	年 ~ 年
主たる活動団体 (ITU-R,T,D、APT、JICA 等)	
主たる活動分野 と内容 (SG、プロジェクト名 具体的な活動内容等)	
役職等 (議長・副議長、ラポータ等)	

活動歴・功績内容(約 1,800 字以内)

※ 簡潔にご記入下さい。制限文字数を超える場合、参考資料として別途ご用意下さい。

- 1) 活動団体・会議名称、役職、従事期間等を具体的に記述して下さい。
- 2) 功績内容は、諸活動での貢献度がわかるよう具体的な功績や成果のみならず、功績に至るまでの経緯等を簡潔に記述して下さい。
- 3) 奨励賞対象者は、今後期待する活動領域についても記述して下さい。
- 4) 功績参考資料があれば添付願います。(原則 1 点まで)
- 5) 文章は、「～に貢献。」等体言止めをお願いします。
- 6) 年号は、西暦をお願いします。(例／1999 年(～2010 年))

略号； 略号(英語フルセンテンス／日本語)の順に記載下さい。(例:ITU(International Telecommunication Union／国際電気通信連合)

略号については、略号(英語フル／日本語)の順をお願いします

(例／ITU(International Telecommunication Union／国際電気通信連合)

[記入いただきたい略語]

ITU や APT の組織名、全権委員会議や SG**等の会合名の記載は不要です。
技術的な略語は、審査に必要となりますので必ず記載下さい。ここに記載いただいた略語については、上記功績ポイント、活動歴・功績内容の文章で説明は不要です。